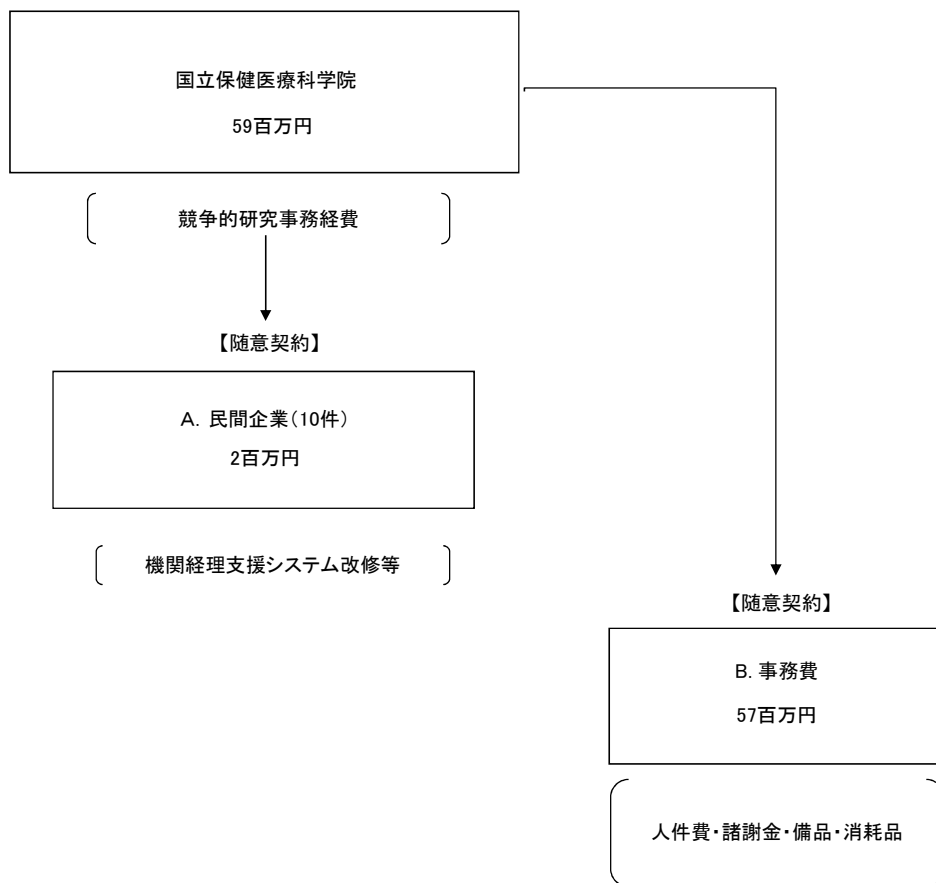


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	国立保健医療科学院競争的研究事務経費			担当部局庁	国立保健医療科学院			作成責任者
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部会計課			川又 功
会計区分	一般会計			政策・施策名	X I - 1 - 1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働科学研究費補助金等の競争的研究経費の機関経理を行うことを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	厚生労働科学研究費補助金、科学研究費補助金、各種助成金で行う研究の機関経理を行う。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	61	58	64	65	75	
	執行額	61	55	59	-	-		
	執行率(%)	100%	95%	92%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	機関経理事務取扱課題を適正に処理する。	機関経理事務取扱課題数の内、適正に処理された数	成果実績	課題	124	132	130	
			目標値	課題	124	132	130	104
			達成度	%	100%	100%	100%	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	機関経理事務を行った課題数を活動実績とし、年度当初の採択数を当初見込みとする。	活動実績	課題	124	132	130		
		当初見込み	課題	111	127	106	104	
		算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
単位当たりコスト	単位当たりコスト	円	490,087	415,832	453,037	620,837		
	X:執行額/Y:課題数	計算式	X/Y	60,770,817円/124課題	54,889,865円/132課題	58,985,854円/130課題	64,567,000円/104課題	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1	1	賃金職員の増				
	委員等旅費	0	0					
	庁費	0	0					
	試験研究費	64	74					
	計	65	75					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	競争的研究費に係る機関経理事務等に必要な経費であり、国費を投入しなければ実施できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	競争的研究費は、その機関が事務を行うこととなっているため、他の機関に委ねることはできない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	競争的研究費による研究を適正に行うための経理事務であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	個々の契約が100万円未満のものについて少額随意契約とした。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	前年度に比べ、単位当たりコストは低下している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	両面コピーを活用している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	機関経理事務取扱課題数について適正に処理した。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	年度途中での採択課題等があり、活動実績は見込みを超えている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	国立保健医療科学院における事務経費という点で類似しているが、それぞれ適切な役割分担となっている。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省・国立保健医療科学院	876	国立保健医療科学院共通経費		
点検・改善結果	点検結果	競争的研究費について、機関経理事務を行うことにより、研究者の負担の軽減を図るとともに、研究費の経理の透明化や早期執行を図っており、平成26年度においては、全ての研究で適正な事務処理が行われた。			
	改善の方向性	競争的研究費の機関経理事務等が効率的に実施できるよう、必要な経費は執行しながらも、経費削減に努めるとともに、研究費の適正な執行を行う。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	研究事業の適正な執行のために必要な経費であるため、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	598	平成23年度	543	平成24年度	482
平成25年度	866	平成26年度	866		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		100万円以上の支出先なし				
	計		0	計		0
	B.非常勤職員			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	賃金(21名)	53.7			
	計		53.7	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	TDCネクスト株式会社	機関経理支援システム一式運用保守	0.5	随意契約	-
2	TDCネクスト株式会社	機関経理システム機能追加作業	0.3	随意契約	-
3	埼玉りそな銀行和光市店	ネットバンク利用	0.3	随意契約	-
4	富士通株式会社	パッケージプログラムプロダクトサポートサービス	0.3	随意契約	-
5	株式会社豊島製作所	蛍光スキャナー用PC及び動作確認業務	0.3	随意契約	-
6	ヤマトホームコンビニエンス株式会社	研究成果報告書運搬	0.2	随意契約	-
7	株式会社アルティユースタッフ	人材派遣業務	0.2	随意契約	-
8	株式会社コムラ	ポスター等作成	0.1	随意契約	-
9	フェスティナレント株式会社	封筒印刷	0	随意契約	-
10	NECキャピタル株式会社	テレビ会議システム賃貸借	0	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員	賃金(21名)	53.7	-	-
2	川越保険事務所	社会保険料	1.1	-	-
3	美津野商事株式会社	OA機器等購入	0.5	随意契約	-
4	とら屋事務株式会社	什器購入	0.4	随意契約	-
5	株式会社西田文具	事務用消耗品購入	0.3	随意契約	-
6	堀内電機株式会社	OA機器等購入	0.3	随意契約	-
7	株式会社ヴァル研究所	ソフトウェア購入	0.1	随意契約	-
8	株式会社竹宝商会	OA機器等購入	0.1	随意契約	-
9	個人A	委員等旅費・諸謝金	0	-	-
10	広友サービス株式会社	事務用消耗品購入	0	随意契約	-